
東方破綻録

K・H

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方破綻録

【Nコード】

N6588Y

【作者名】

K・H

【あらすじ】

未だ終わる気配を見せない作者の投稿作品の一つのエンディング後を描いた物語。

プロローグ

神に殺され、異世界に飛ばされた少年がいた

少年はそこで様々な人に逢い、仲間と出逢ってきた

そして様々な願いを持った者にも逢ってきた

ある者は永遠の命を、

ある者は恋人を蘇らせようと、

ある者は少年と共になりたいが為に、

ある者は過去の自分である少年を殺すために

そして少年は自分に関する記憶を対価に世界を救った。それ故、少年を覚えている者は世界には一人も居ない

故、少年。いや『
そう

』はある世界に呼び出された。

全てを受け入れる樂園のある世界に

そして彼の新たな物語は何故か奈良時代から始まる

一話 竹取物語・上（前書き）

正直言って短いです

一話 竹取物語・上

「この世界に来てからもう千年か……。そして世界から俺の記憶が消えて千年でもあるんだよな……」

ふとポケットからアイツに貰った懐中時計を出し、止まった時を見る。今を思えばアイツとの接点はもうコレくらいしかないんだよな……

「さてと、噂に聞く平城京に行くとしますかね」

どんな所なのか一度見てみたいしな。それに

「かぐや姫がどんな奴なのか気になるしな」

目指すは平城京

東方破綻録

一話 竹取物語・上

「流石に賑ってるなあ・・・」

時間軸的にかぐや姫に求婚を申し込むところか。アカシックレコードにアクセスして確認も取ったからまず間違いはないな

「（ふむ、今晚辺り噂の姫の屋敷に忍び込むか。っとその前に）おはちゃーん！これおかわり！」

『はいよー！』

腹が減っては戦は出来ぬって言うだろ？

「さて行くかな」

日が沈み、辺りが暗くなったのを確認してかぐや姫が居るであろう場所へ歩き出す

「一応やっておくか」

英霊 アサシン 闇に潜む暗殺者

「これでアサシンのスキルが付いたな。気配遮断、発動」

その後、気配遮断のおかげが見張りの人たちに気付かれることもなく進めたのだが……呆気ないもんだなあ……

「（ん？ あそこに誰か居るな……）」

気になる。激しく気になる。……よし近づこう。どうせ気配遮断で気付かないだろうからな

そんなことを思っていた時だった

「そこに居るのは誰？ 隠れていないで出てきなさいよ」

俺が近寄っているのに気付いたのか、こちらに話しかけてくる。馬鹿な！気配遮断がきかないだと！？

ええい、最近の輩は化け物か！・・・かぐや姫って蓬萊人だから一応人外の類には入るか

「早く出てこないと人を呼ぶわよ？それでも良いならそのままにしておなさい」

「流石にそれはご勘弁願いたいね」

「ふふ、冗談よ。それで？あなたは どうして此処に？私を攫いにでも来たの？」

「俺をそこらの妖怪と一緒にして欲しくないのだがな・・・ま、風の噂に聞いたんだよ。絶世の美人が平城京に居るってね。それで一回くらいは見ておこうかと此処まで来たんだよ」

「ふうん。ま、それくらいなら別に良いわ。・・・で？私を見た感想は？」

「ううむ……。なんというか……。猫を被ってそう」

何かこやつのだまりが素ではなく、なんというか猫を被って良い子をしているような気がするんだよねあ……

「うぐツ、なんで分かったのよ……」

「え？ 本当に猫被ってたの？」

驚き桃の木……。『アイツ』に似てたから言ってみたのだが、的中していたとは……

「初めてよ。一目で見抜いた奴なんて」

「知り合いに似たような奴が居たもんでね。何となくで分かったのさ」

「『何となく』……。ね。ほんとに初めてよ。私の本性をそんな理由で見抜く奴なんて」

その後何故か、そう、何故か仲良くなり話し合っていた。……。ホントになんて？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6588y/>

東方破綻録

2011年11月29日19時47分発行